

(第13回 ディアスポラ映画祭 観客賞)

(第20回 大阪アジア映画祭 インディ・フォーラム部門)

(第39回 BFIフレア: ロンドンLGBTIQ+映画祭 Daydreamer部門)

サラバ、 さらんへ、 サラバ



ちゃんと見といて。
まだ私という景色を。



蒔田彩珠
碧木愛莉

テイ龍進
石崎なつみ
笠本ユキ
浦田悠

原案: 古屋幸一
原簿: 加藤大輝
脚本: 木原広滋
美術: 森田琴衣
衣装: 小宮山芽以
ヘアメイク: タカダヒカル
助監督: 内田新
音楽: 菅野信良 Steve Licht
カラスト: 山田裕太
ED: 小林明日美、足立淳
MA: 塚山洋次
プロデューサー: 三毛かりん
プロデューサー兼: 太田理百合子
ラインプロデューサー: 村田潤
製作: テレビマンユニオン
配給: 宣伝: イハフィルムズ
宣伝デザイン: 湯見陽

Farewell,
Saranghai,
Farewell

脚本・監督

洪先恵



スターにでもなれよ。
私のいない世界で

16歳、茨城の田舎町に住む女子高生カップルの仁美(蒔田彩珠)と菜穂(碧木愛莉)。アイドルになることを夢見る菜穂を、仁美は献身的に支えていた。ある日、菜穂から「K-POPアイドルになるため韓国に行く」と告げられ、2人に突然の別れが訪れる。

ドラマ「御上先生」「DOCTOR PRICE」のほか映画『消滅世界』公開も控えるなど話題作への出演が続く蒔田彩珠が主演を務め、ドラマ「顔に泥を塗る」や『青春ジャック止められるか、俺たちを2』などで注目を集める碧木愛莉と共演。近年は主に脚本家として活動している洪先恵(ホン・ソネ)の自らの体験に基づく初監督作品『サラバ、さらんへ、サラバ』。各国の映画祭に多数選出され、韓国・第13回ディアスポラ映画祭では観客賞を受賞するなど高く評価を受けてきた本作が、短編映画ながら異例の単独劇場公開を果たします。



各国の映画祭で賞賛された 短編映画が待望の劇場公開決定！

タイトルが示唆しているように、これは別れについての映画だ。それにしても何という別れ方だろう。映画史が繰り返し飽くことなく描いてきた別れの場面。その中でもこれだけは絶対に、永遠に、誰もが忘れられないだろう別れ方だ。愛することの喜び、切実さ、悔しさ、悔みさ。そして相手への感謝、相手の将来の幸せを祈る気持ち。それらすべてがなげになつたものが、徹底した肉体のアクションを通じて鮮烈に表現されている。

— 暉峻創三 (映画評論家)

出演：蒔田彩珠、碧木愛莉、テイ龍進、石崎なつみ、笠本ユキ、涌田悠
脚本・監督：洪先恵 製作・制作：テレビマンユニオン 配給・宣伝：イハフィルムズ
(1.85:1/ステレオ/26min) ©テレビマンユニオン

X @sarabasaranghae HP <https://sarabasaranghaesaraba.com/>

9月26日(金)よりロードショー！

WALD CINEMA 新宿バルト9

チケット料金：一律1,000円(特別興行・一部劇場を除く)